



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝

事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



1998.1.20 No.8

世界理解月間[2月]

ゴマアザラの親子



世界理解月間を迎えて

1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝

2月は長野オリンピックの月です。

ギリシャから運ばれた聖火のもと、文字どおり地球規模での雪と氷のスポーツ祭典が、開催されます。

2月7日11時から始まる開会式では、名古屋で生れ育った銀盤の「女王」伊藤みどりさんが、聖火台に点火します。

そしてロータリーでは、2月は「世界理解月間」(WORLD UNDERSTANDING MONTH)です。

永遠の世界平和実現のため、国家や民族をこえた相互理解と親善をはかること。すなわち国際奉仕を中心とする特別なプログラムと、その活動を実施する月間です。

1983年以来、ロータリーは2月23日の創立記念日を「世界理解と平和の日」と定め、記念事業を行っています。

言うまでもなく、ロータリーのすべてのプログラムや活動は、基本的には世界理解と平和の推進を目指すものです。しかしこの理想を実践する方法は、地区やクラブによってさまざまであり、また時代と国情によってそのニーズも変わります。

キンロスRI会長の今年度のテーマは

「SHOW ROTARY CARES」です。

それは「ロータリーの心を」はっきりした具体

的な行動で示してほしい、ということです。

なかでもキンロス会長がもっとも強調されているのは「飢餓と貧困」との戦いです。今の技術と文明の世界で、飢えに苦しむ人たちが沢山いるのは、人類の恥ではないかと言われました。

そして、貧困の大きな原因である基礎教育の不足についても指摘され、「世界寺子屋」運動に力を注ぎ、識字率の向上をはかるよう呼びかけられています。それは同じ時代を生きる地球市民としての、良心と善意の発露ではないかと思います。

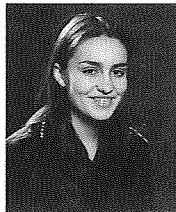
私ども2760地区では、歴代のガバナーや国際奉仕委員長、WCS委員長のご努力により、わが国でも有数のプログラムと実績があります。

また各クラブ独自の国際奉仕活動も非常に活発で、先方クラブと密接な連携をとりながら、ユニークな奉仕活動を重ねています。

私どもはこの伝統と実績を背景に、地区およびクラブとして、先方国のニーズと実情をよく調べ、より効果的なプログラムを具体化しようつとめたいと思います。

2月はすべてのロータリアンが、心を一つにして会長テーマを理解し、この世の中をよりよい世界にする強い意志を確かめあい、積極的に行動する月にしたいと思います。

“また会いましょう”



ロータリー国際青少年交換プログラム
オーストラリア 第9520地区 IRYMPLE RC
ホストRC：名古屋瑞穂RC
NARELLE DICHIERA ナレル・デシーラ 1978.6.11生
名古屋女子大学高等学校
来日：平成9年1月18日 帰国：平成10年1月9日

日本に来て、最初の1週間は、何もわかりませんでした。でも、学校が女子校だったので、男の子の友だちがたくさんいました。

毎朝、制服を着るのがとてもいやでした。オーストラリアには、制服がありませんから。

ひざまでのスカートをきて、シャツをなかにいれて、ネクタイをするのは、ちょっと変な気持ちでした。

足は冷たいし、新しい靴で、足が痛くなりました。廊下を歩きながら、自分がエイリアンみたいだと思いました。スリッパがうまくはけなくて、困っていると、みんながじっと見て、小さい声で何か言っているのがわかりました。

はじめの2、3週間は、職員室で、ひらがなや、カタカナの読みかたを勉強しましたが、とても退屈でした。6才の子供でも出来ることが出来ないなんて、自分が本当に小さい子供のような気がしました。オーストラリアが恋しくなりました。パーティーとか友だちと遊んだりおしゃべりしたりしたいと思いました。なかなか友だちができなかったのが、大変でした。ホストファミリーや、先生、ロータリアンの人たちが、親切にしてくれましたけど、よく知っている人がいなかったのが、とてもさみしかったです。家から手紙がくると、すごく元気がでました。

はじめての体育の授業の事は、忘れられません。みんなが更衣室じゃなくて、教室で着替えはじめたので、びっくりしました。青い体操服を着るのもいやだったし、Tシャツをなかに入れるのもいやでした。オーストラリアの友だちがいなくてよかったと思いました。きっと笑うでしょうから。

とうとうクラスに入る日がきました。言葉が違っているので友だちをつくるのは大変です。みんなが同じ言葉を話したらいいなあと思いました。言いたいことがあるのに、言えないのはほんとうにストレスです。頭の中がいつもいっぱいでした。クラスのみんなは同じに見えました。みんな、シルクのような黒い髪で、茶色の目で、同じ制服で、それから日本の名前を覚えるのも大変でした。名前と顔を一致させるのはもっと大変でした。クラスに入って何週間も名前がわからなかったのがみんなに悪いと思いました。

教室に一日中いるのに慣れるのも大変でした。オーストラリアでは課目ごとに教室を変わったので友だちができたのです。でもいつも同じ教室にいるのでみんなと仲良くなりました。はじめはみんな

の声が全然わからなくてただの音でした。いつもほかの事を考えていました。いつまでもわからないんじゃないかと心配でした。

朝礼もショックでした。みんなが並んで先生におじぎをするのはオーストラリアと反対です。オーストラリアではみんな机に座ってウォークマンを聞いたり友だちとしゃべったりするのです。学校のバンドが演奏して校歌を歌うのにもびっくりしました。軍隊とは思いましたが、今は違います。

ガイジンというひそひそ声が消えて先生や生徒がみんな私を学校のメンバーとして受入れ、少しずつコミュニケーションができるようになりました。それからどんどん色々なことが良くなりました。

この学校の一人として学校の行事に参加しました。私が日本の学校に慣れただけでなく、みんなも私に慣れました。もうだれもガイジンと言わなくなりました。私も学校の生徒になってみんなと一緒にいろいろなことに参加しました。バスケットボール大会やマラソン、文化祭の劇にも出ました。みんなとてもおもしろかったです。でも一番楽しかったのは修学旅行で九州に行ったことです。きれいなところをたくさん見ました。

今考えるとちょっと変な気がします。1年前私が思っていたことはすごく変わりました。たった1年でこんなに日本に慣れるとは思いませんでした。今では体操服も女子校にも慣れました。言葉の問題もだんだんなくなりました。本当にたくさん友だちができました。そしてみんなコミュニケーションのためにいっしょうけんめい努力してくれました。一緒に座って辞書を調べたり、笑ったり、自分のことを話したりしました。

みんなの親切と友情に心から感謝します。みんなは私が一番必要な時にそれをくれました。私はもうすぐオーストラリアに帰りますが、またいつかきっと日本に帰ってきます。

また会いましょう。



修学旅行



学校

※ YEO東京会議報告



地区青少年交換(小)委員会
副委員長 神田 憲

'97年12月8日東京芝ABC会館に於て青少年交換全国委員長会議が開催されました。会議には岩井敏ガバナー会議長(D.2750)、平岡正己RI青少年交換会議企画委員会委員(D.2640)をはじめゾーン1北海道からゾーン4鹿児島までの全34地区より37名が出席されました。青少年交換日本連絡事務所の河合良事務局長(D.2570)司会のもと本年度下半期の行事・各地の問題点等が討議されました。主な議題は①1月末日受入学生の輸送委員会の件―千歳・成田・名古屋・関西空港等への到着確認、割り振り、乗継ぎ、受渡し作業。③4月9・10日に開催される大阪会議の件―竹山RI理事がRI会長代理として出席されます。又各地区より約200名のYEO委員が参加されます。(因みに名古屋会議は2000年です。)④6月12・13日に開催されるインディアナポリス世界大会直前YEO会議への出席依頼の件等でした。各地区の掲げる問題点としては、英語圏の受入国の減少・学生の質の低下・ホストファミリーの不足・窓口である新旧国際奉仕委員長の引継の徹底等々でした。

ロータリーの国際奉仕活動のうちで最も価値のある奉仕活動の1つである「青少年交換プログラム」は、次代を担う高校生に留学の機会を提供し、派遣・受入と言う交換を通して国際友好を深め親善と相互理解を推進し世界にその輪を拡げ平和に寄与することを目指しております。このプログラムをより実りあるものにし、青少年を育成するかを参加ロータリアンが熱心に意見や情報を交換する姿はいつもながら感心します。日比谷に懇親会の場所を移し歓談後、4月の再会を約し帰名しました。

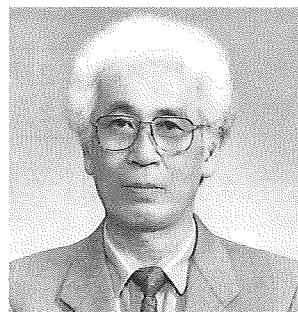
※YEO=YOUTH EXCHANGE OFFICERS

日本の青少年交換状況

District	地 域	クラブ	会員数	来日	派遣
2500	北海道東部	69	3,339	3	5
2510	北海道西部	69	4,190	10	11
2520	岩手	44	1,940	5	9
2530	福島	61	3,248	6	8
2540	秋田	43	1,911	3	4
2550	栃木	51	2,708	11	12
2560	新潟／群馬	95	5,552	9	11
2570	埼玉北部	55	2,833	8	9
2580	東京／沖縄	70	4,857	18	18
2590	神奈川／横浜	58	3,187	6	8
2600	長野	58	3,255	6	1
2610	富山／石川	61	3,330	11	12
2620	山梨／静岡	81	4,539	11	9
2630	岐阜／三重	78	5,170	27	28
2640	和歌山／大阪	72	3,917	16	21
2650	京都／奈良／滋賀／福井	90	6,665	34	27
2660	大阪	81	5,538	12	13
2670	四国 4 県	71	3,917	9	10
2680	兵庫	72	4,153	7	1
2690	鳥取／島根／岡山	66	4,179	4	3
2700	福岡	59	3,951	11	16
2710	広島／山口	71	4,315	6	8
2720	大分／熊本	71	3,327	4	8
2730	宮崎／鹿児島	62	3,226	4	6
2740	佐賀／長崎	55	3,130	11	12
2750	東京／グアム	84	6,155	21	23
2760	愛知	76	6,354	10	10
2770	埼玉南部	79	3,872	25	21
2780	神奈川	67	3,497	9	12
2790	千葉	80	4,237	9	12
2800	山形	54	2,504	5	4
2810	宮城	44	1,946	12	21
2820	茨城	57	2,918	7	6
2830	青森	43	1,770	8	7
34	TOTAL	2,247	129,630	358	386
	平均	66.1	3,813	11	11.4

姉妹クラブをどうぞ

地区国際友好(小)委員会
委員長 中野 博三



昨年末、国際ロータリー第3480地区方振淵ガバナー、姉妹クラブ準備委員会邱秋林委員長から、下記の様なFAXがガバナー事務局に届いた。

「……(略) こちらは第3480地区を代表いたしまして、多くの地区内のクラブが、貴地区内のクラブと姉妹クラブの成立をしており、今年度の重要活動として計画いたしております。その第一歩として地区内で姉妹クラブ準備委員会を設立させていただきました。委員達も一生懸命に国際交流活動をいたしております。当委員会の調査によりますと、多くの台湾のクラブが日本国内クラブと姉妹クラブ関係を結んでいるにも拘わらず、多くの台湾のクラブが新規姉妹クラブ関係を結びたいと思っております。この強い誠意を表したいと思っております。当地区内の多くのクラブ員は、日本国の文化を尊重いたし、愛好しており、日本語もよく話せます。是非この機会を活用いたしまして、当地区内のクラブと姉妹クラブの誕生を、よろしくご指導の上ご協力をお願い申し上げます。」

当小委員会としては、これだけでは地区内各クラブに流す情報として不十分であると考え、地区内76クラブのうち、43クラブが海外55クラブと交流しており、台湾のクラブとは16クラブ、3480地区内のクラブとは、5クラブが交流している現況と3480地区に就いて二、三の照会をした。

邱秋林準備委員会委員長からは、「現在、台湾には4つの地区があり、地区として台北市及び台北県をテリトリーとする3480地区が台湾で一番大きい。地区内のクラブ数は102クラブ。そのうち13クラブが今年度(1997年)に誕生。日本とは59

クラブが交流しており、交流を希望しているクラブは11クラブ。」との回答をいただいた。

交流を希望するクラブのクラブ名、会員数、例会日、創立年月日、会場は下記の通りである。

台北中央クラブ	54名	月曜日	12:30
'86/10/13		亞都飯店 2F沙龍廳	
台北文林クラブ	42名	火曜日	12:30
'93/6/24		中山聯勤外事俱樂部	
台北城東クラブ	46名	木曜日	12:30
'94/5/17		環亞飯店15F東方大曾堂	
台北城南クラブ	34名	木曜日	12:30
'96/1/8		來來飯店俱樂部一品廳	
台北永樂クラブ	48名	木曜日	12:30
'96/1/15		希爾頓大飯店4F	
台北蓬來クラブ	38名	木曜日	12:00
'96/10/9		富都大飯店1F貴賓廳	
台北建成クラブ	58名	水曜日	12:30
'96/11/6		希爾頓大飯店4F	
台北雙園クラブ	39名	火曜日	19:00
'96/11/20		來來飯店17F春風樓	
台北羅馬クラブ	40名	金曜日	12:30
'96/11/20		世寶聯誼社33F	
台北雙連クラブ	27名	木曜日	12:00
'97/2/12		環亞飯店 2F金融家	
中和西区クラブ	45名	月曜日	12:30
'96/10/30		金和餐廳	

交流を希望されるクラブは当小委員会までお申し出下さい。'95年のアンケートの際、言葉の壁が問題となっていたが、その点あまり心配はいらないと思う。

1997～'98年度のWCS視察旅行は下記の日程にて実施されます。

1998年2月5日(木)～8日(日) フィリピン・マニラ
1998年2月5日(木)～9日(月) タイ・チェンマイ

視察報告は後日いたしますが、今回は、昨年の報告書より参加者の感想等をご紹介します。

○ 双方のマナーを感じる 内容の見直しを…

半田RC 杉浦 三郎

私にとって比国でのWCS活動は、1988年初めて訪問して以来、6回目か7回目の参加である。

初めて訪問した時の感激と興奮、そしてプロジェクト現場を見た時のショック…その印象は回を重ねる毎にうすくなってきた。

しかし10数年継続されてきた、この偉大なWCS活動、我が2760地区の財産であり、誇りであると改めて先人の努力に敬意を表したい。

今回の訪問で私も感じたし、他の皆さんも感じた事であるが、比国、我が地区の会員、プロジェクト双方がマンネリ化していると言う事である。吉村国際委員長もドネイションセレモニーの挨拶のなかで「活動の見直しが必要である」と述べられた。私も同感である。

<提案>

1. 人を育て、両国の友好を深めるには「愛知ロータリー奨学基金」のより一層の充実が一番である。
基金の増額
2. 現在3810地区27のプロジェクトに22のクラブより総額2,675,000円 平均1プロジェクト100,000円
3800地区55のプロジェクトに34のクラブより総額3,721,000円 平均1プロジェクト67,650円と比国の要請が強く、多くのプロジェクトに総花的に割り振られ、効果が見えてこない。

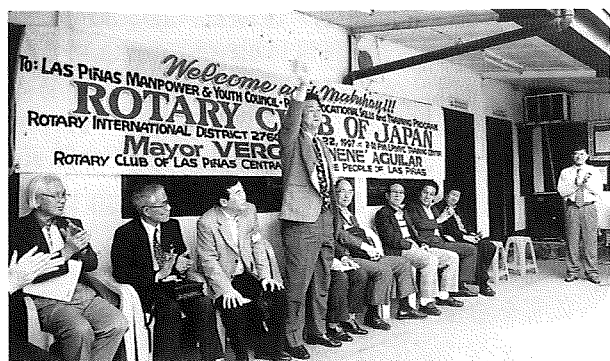
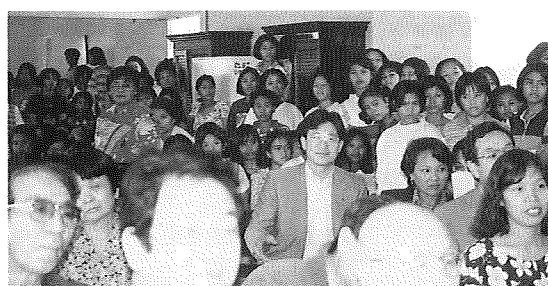
これをクラブとして相手クラブ、プロジェクトが決



まっているところは、そのまま継続。

地区一任のクラブの分は、両地区共5つ位のプロジェクトに絞って、まとまった基金を投入成果がはっきり現れる事業にする。

我が地区が主導権を持った配分が望ましい。しかしこれを実現するには、原点に帰った双方の努力。日比の道を開いて頂いた先輩のお力が、是非とも必要になろう。



○人間 Dr.P.SUMIN

名古屋昭和RC 大平 賢一

WCSの視察旅行の参加も4回目となり、少しWCSのお金が現地でどのように利用されているのか、理解できるようになりました。今回の視察先で特に感動したのは、以前より継続して実施されている植林で3年前に訪問した我々の仲間の名前が記入された植林が根が付き3m位に成長していたことです。

記念写真を撮り、今回の我々の植林の成長も期待して、胸がワクワクしました。それ以上にWCSの運営を見ているといち個人の献身的な業務とロータリー精神の鏡のように一生懸命という言葉では表現出来ない、ロータリアンのきめ細やかな手配、連絡、実行のたまものと確信しました。D3360のWCS委員長、Dr.P.SUMINがその中でも特に、非常に献身的に我々との連絡窓口となり奨学金の管轄された預金通帳を手利用された金額等正確に記帳されたレポートを片手に1,000万の奨学金の利息で106人の子供達が学費・教材費をまかなっていました。「信頼できる紳士」何か良い言葉が浮かばないが、この人と手を組んでWCSを運営していけば安心、間違いのないと思うのです。

ロータリーの運営も人、組織を作っていくのも人、会社、地域、国を動かしているのも最後はすべて人だから人への投資がいかに大切で重要なことであるか良く理解した人々が、将来の地球を愛する人々を多く教育してほしいものです。その為に我々のWCSの活動が有効であることを確信します。

最後にD3360の歓迎会においてロータリアンファミリーの暖かい心ざし、歓迎を受けて益々RCに入っていることを喜びに感じさせてくれました。世界にもロータリーの友が、いつでも心よく仲間に入れてくれ、その人々の心の暖かさを感じる旅行でした。



○“WCS活動の素晴らしさに感動”

東知多RC・同行 村瀬 不二子 (村瀬和男 夫人)

WCSチェンマイ視察旅行に、内容も知らないまま主人と同行させて頂きました。話には、いろいろと聞かされていましたが、WCS活動の状況を、目の当たり見、ロータリークラブからの援助資金が有効に、生き生きと活用されている様を、実際に視させていただき、有難うございました。数多くの貧しい人々や、病気で苦しんでいる人達の為に、こんなにも役立っているのだと思うと、心から感動しました。ロータリークラブのWCS活動の素晴らしさを、あらためて知ることができ、今回の旅行に参加できたことに、感謝しております。貧しいなかから、一生懸命勉学に、励んでいる子供たちのいじらしい姿、それでもみんなの目は、希望に充ち明るくて輝いていて、暗さは微塵もない。振り返って、豊かな日本の子供たちの姿と重ね合わせるとき、この貧しい子供らに、本当に豊かに幸せな日々の、訪れるのはいつの日かと、思わずには居られなかった。また何時の日かチェンマイの地を訪れ、あの幼い子らの成長した姿を、見てみたいと思う。そして植樹したチークの木も、どの位に育っているであろうか。

ウーマンパワーは花ざかり



司会者
地区副幹事 福島啓氏



国際ロータリー第2760地区ガバナー
犬飼 栄輝

犬飼ガバナー 本日はお忙しい所、皆様にお集まり戴きまして有り難うございます。

ガバナー月信の大スペシャルプランで、女性会員の偽らざる本音の所をお聞きしようと、ということでお集まり戴きました。

どうかよろしくお願い致します。

司会 所属クラブと自己紹介をお願いします。

菊岡 菊岡と申します。平成3年2月に名南ロータリークラブの、チャーターメンバーとして入会しました。名古屋では女性の第1号でした。職業はゴルフ場の経営で、ゴルフ場を3つやっています。

半泊 錦ロータリークラブの半泊佳子と申します。平成8年4月に発足した、錦のチャーターメンバーとして、10名の女性の一人として、入会しました。後に2名入られて現在は12名が女性です。仕事は冠婚葬祭、結婚式場の経営です。

林 一宮中央ロータリークラブの林倫子と申します。平成2年5月にチャーターメンバーで当時3名の女性でしたが、今は6名になりました。仕事は保育園と特別擁護老人ホームなど、社会福祉事業です。

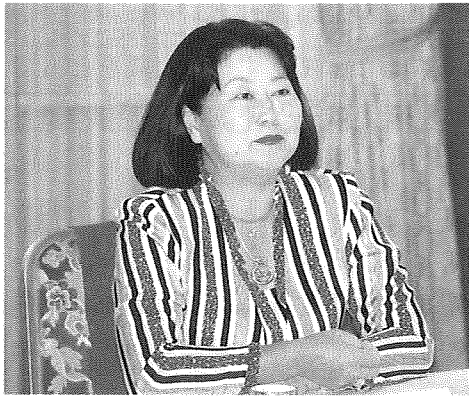
小島 豊橋ロータリークラブの小島良子と申し

ます。後2年で50年を迎えます、伝統あるクラブでございます。平成7年8月に同級生の石川ガバナーからお薦めを受けまして女性第1号ということで入会いたしました。その後2名入られました。職業は塩の卸売業をやっています。他に塩を運ぶ所から、50台位トラックを持って運送会社を営んでいます。

内藤 高浜ロータリークラブの内藤満里子と申します。平成8年10月に入れて戴いたばかりです。女性会員は先輩が2名いまして、私は高浜で「第三の女」と言われております。(笑) 仕事は香りに関するお教室をやっております。香りに関する小物のデザイン企画もしています。

犬飼ガバナー ご承知の通り、元々ロータリークラブは男社会でございました。要するに、「男同士でビジネスを通じて、ゆっくり話しましょう」と「同業者と女性を入れない」というのが始まりでした。

愛知県では今、女性会員は60名くらいです。この地区は6,000人ですから、まだ1%にもなりません。世界では確か7%くらいで、女性会長さんが何十人かいて、地区ガバナーも何人かいます。



名古屋第一分区 名古屋名南RC 菊岡 深智子

司会 ロータリークラブに入る前と、後とのイメージの違いはありますか？

菊岡 私はロータリーに関しては苦い経験がありましてね、仕事を初めて10年くらい経った時、自分から「入れてください」と、希望を出したんです。その時は即座に「女性はノー！」と断られました。

ロータリアンといえば知名度が高く、社会的な地位もあり凄いんだよ、という感じがありました。いざ、入ってみると「まあ同じだな」と、思っています。あまり違和感はありません。入ってみて男性の弱点もよくつかめましたし。(笑)

小島 私は大変伝統のあるクラブに一人だけ入りましたので、どういう顔をしていけばいいのか…と、(笑) 豊橋では新聞紙上でしかお目に掛かれないうような方々と、いつもご一緒できる、ということで。私共のクラブ読本には「地位も名誉も財産も、かなぐり捨てて、銭湯に入るような気持ちで裸のお付き合いをすると書いてあったものですから、和やかでいい所だと思いました。

司会 よく、お一人だけですと女性は居づらいのでは？と言われますが…

菊岡 女性は何でもないんですよ。(笑) 男性側が戸惑っていらっしゃる…

半泊 私共は最初から10名でしたから、和気あいあいと、和やかな雰囲気ですね。でも、メイキャップでは大変。テーブルに私が座ると、そこでシーンとなるんです。申し訳ない気が

します。(笑)

司会 ホームクラブでは違和感はないけど余所へ行くと感じます？

林 メイキャップが辛いです。行きにくいです。入って行きますと、不思議な顔をされます。おっしゃる通りシーンとなり、視線が一気にはっと集まります。(笑)

菊岡 東京のクラブでは、一番古い所へ行きました。「あっ、卓話の方ですか？」(笑) 日本の大企業の方ばかりのクラブへ行きました「どうせ行くなら、名古屋の宣伝をしよう」と、そうしたら真ん中の会長の横に座らせて戴いた。(笑)

内藤 私もやはり同じ体験をしています。メイキャップに行きますと、やはりシーンとするんです。(笑) それと、お食事の時間が非常に短いですね。何処でも、最初の三口くらい食べましたら、もう終わっていました。(笑)

お金持ちで、高齢で、雲の上のグループかな？というイメージでしたが、入ってみたら普通の人と同じように接することができて、入ってよかったです。



犬飼ガバナー 中部経済新聞さんにご協力して戴いて色々と記事にして戴いているんですけど、一般にロータリーは「一流のホテルで、週に一回集まって、御馳走を食べて座談会をやる会だ」と。(笑)

「奉仕の理想」とまではいかなくても、せめて我々がやっていることを等身大にはPRしなければと思いますね。そうでなければ、

ロータリークラブの社会的な評価も低くなってしまいますし、会員増強の時にも「ロータリーって何？」では困るわけですよ。

司会 ロータリーで特に楽しかった事は？

菊岡 一週間に一度集まるのは、最初苦痛だったんですよ。所が慣れてきますとそれが楽しくなってきました。不思議ですね。何か家族のようなものですね。



名古屋第二分区 名古屋錦RC 半泊 佳子

林 最初、毎週の例会はすごくきつい、と思ったんですけど。でも、今はいいと思います。毎週だと早く親しくなれますもの…。お仲間が増えたのが楽しいです。

犬飼ガバナー 私もね、例会が木曜日でしょう。週の真ん中ですからね、最初は大変でした。それが、その内に木曜日を中心にして自分の行動計画をたてる。結局、ロータリーの行事を中心にして自分が動くようになった。(笑)

菊岡 慣らされますよねえ。飼い犬のように犬飼さま！(笑) よく休みましたよ。不良会員でしたのに今はもう優良会員です。

小島 本当にそう思います。大変魅きつけられます。いい所へ入れて戴いた。(笑)

菊岡 同等、同席でしょ？これが凄い魅力。

犬飼ガバナー 先輩、後輩はありますし、会長、幹事もありますけど、これは機能文化であって上下ではないんですね。むしろ、実社会の縦割りを洗い流して、一対一で、職業も性別年齢も違って、平等に付き合う社会は、ロータリーしかないんじゃないでしょうか？

半泊 これまで「毎週一回、必ず同じ時間に同じ場所で逢いましょう」という、約束をする

という事は無かったことです。「これから、将来にわたって、ずーっと歳をとっても、やっていこうね」というのは本当に嬉しいことです。

司会 ロータリーに入って、自分が変わったなあ、と感じられますか？

林 私は一宮市に住んでいながら、繊維の業界に付いて全く判りませんでした。所が、ロータリーに入って、お隣に座った方から情報を戴くんです。そういう意味で視野が広がったと思います。それと、卓話。順番が回ってまいりますと、どうしても「成さねばならない」と、ロータリーでしごいて戴きました。(笑)

犬飼ガバナー おっしゃるように、異業種交流の場ですね。それと「自分を発表する」という立場ですね。勉強もしなければなりませんし、大変ですよ。(笑)

小島 ロータリーに入らせて戴く時、亡くなった主人も入っていましたし、異業種交流というのは、私の一番の目的でした。変わったこ



東三河分区 豊橋RC 小島 良子

とは、私は自分では感じませんが、ホームクラブでは皆さんが「小島さんはこのクラブへ入ったから若返ったんだ」(笑)と言われます。

内藤 仕事から、あまり男性とのお付き合いの場がありませんでしたが、この会に入らせて戴いて、本当によかったと思います。ものの喋り方、物腰も「日本もまだ捨てたもんじゃないな」と。(笑)

高浜は田舎ですけど、まだ紳士が沢山いらっしゃるので、頼もしくなりました。

菊岡 私、ロータリーに一つ悩みがあるんです。それは、私のように旦那様を持っている方の家族会なんです。うちの旦那様は家族会に一度目は気軽に来てくれましたけど、二度目がないんです。

林 主人は単身赴任であっち、こっち動きますので、ロータリーへは相談もしないで、勝手に入ってしまった。たまたま、家族会の時、家に居ましたので「貴方、来る？」と言ったら「ばか」と言われました。(笑)それからは誘いません。

菊岡 男性会員の奥様と女性会員とは、少し違和感があります。しっくり行くのにはもう少し時間がかかるかな？って。

半泊 奥様をご紹介して下さるとご挨拶はしますが、少し遠慮がありますね。

林 ずいぶん気を使います。奥様は私達をどう見ておられるか？と、ご挨拶の後は隅っこに控えています。

司会 ロータリーは結構楽しいと、これからもずっと続けますか？

菊岡 私は足で歩いて通える間は続けたいですね。意地悪ばばあになるかな？(笑)

半泊 例会でお話を聞きますと、男性ですから色々遊びのことを言われますね。そんな男性像というものが、近頃理解できます。ふっと、横で呟いた誰かの言葉が本音だったりして「男の人ってこう言うものかな？」と、旦那様の苦勞も判るようになりました。

犬飼ガバナー まだロータリーに入っていない女性を勧誘する時の決め球は？

菊岡 男性、女性関係なく、皆一緒なのよ。

犬飼ガバナー ものの本に「ロータリーは人生の道場である」と、書いてあります。

林 人生の道場って、ピッタリだと思います。私が勧めるのなら「いいお勉強ができますよ」と言います。

小島 経営者としてやっていかれるのであれば、ロータリーが一番いい場所ですよ。勉強をするためにも是非と、言います。

内藤 まだ、自分の輝きのない部分を輝かせてくれる場所。

犬飼ガバナー なるほどね、磨きをかけに行く…。(笑)それと、ロータリーは楽しくなければだめですね。

菊岡 私、メイキャップが楽しいんですよ。この前ね、瑞穂ロータリーへ行ったんです。女性6人の団体で…(笑)すごく楽しかった。びっくりされましてね。「瑞穂始まって以来だ」と、写真も撮って戴いたし良くして戴きました。(笑)

(会場爆笑の渦)

犬飼ガバナー 初めて聞きました。団体のメイキャップは…。(笑)

司会 本日のテーマは「団体でメイキャップを」(笑)でしょうか？

犬飼ガバナー デモンストレーションでは是非うちにも来て下さい。(笑)本日は忌憚のない、いいお話をお聞きできました。ありがとうございました。今後のご活躍をお祈り致します。

…敬称略、順不同…



西尾張分区 一宮中央RC
林 倫子



西三河第二分区 高浜RC
内藤 満里子



編集 地区広報委員
中野 靖子

開催日：1997年10月15日
開催場所：名鉄グランドホテル

知多ロータリークラブ創立10周年記念例会

日時 平成9年11月30日(日) 午後2時より
場所 知多市勤労文化会館

知多RC 会長 早川 佳教

知多ロータリークラブ創立10周年記念例会及び祝宴会には犬飼ガバナーを始め地区の方々、尾張第一分区からは河合分区代理を始め会長、幹事の皆様、市内よりロータリアンの安藤市長、そして市内ボランティアグループの皆様、遠くタイ国ランブーンロータリークラブの会長チャートチャイ様始めロータリアンとその家族、インターアクトの皆様、そして会員、家族の132名の出席を得て盛大に開催することが出来ました。特に設立時のガバナー田中徹様、スポンサークラブの常滑ロータリークラブ会長石井直一様、特別代表永井進様にも出席を頂き記念例会を盛り上げて下さいました。今日まで大変お世話になり感謝申し上げます。

『創立時の熱きおもいを、皆さんで楽しもう、和をもって、地域に感謝』を記念例会のテーマに実行委員会の皆様にお知恵を出し合って頂き、本日の素晴らしい例会に仕立て上げていただきました。これを機に、更に内容の充実したロータリークラブに成長するための節目とし、会員一同努力を怠らず、親睦を更に深め、ロータリーの心を示そう』という内容の会長あいさつ

をいたしました。当クラブの歴史はまだ10年ですが、その間、地域への感謝の気持ちを草の根レベルで示してまいりました。又1994年には、タイ国ランブーンロータリークラブと友好クラブ提携をし、毎年訪問しながら友情を深め、今回の記念例会への出席となりました。先達の歩みに敬意を払い今後も国際間の好意と友情を深め理解する試石として続けることを望む一人です。記念例会実行委員会の皆様に1年近くに亘りご苦労いただいた諸行事もほぼ終了し、次の20周年、30周年に向けて心あらたに知多ロータリークラブの発展のため努力することを互に確めて誓い、例会を終了しました。



4RC合同新世代会議報告

名古屋RC 会長 須田 寛

去る平成9年11月29日名古屋市内4ロータリークラブ(名古屋、中、大須、栄)共催の「新世代会議」が名古屋市内で開かれた。テーマは「21世紀の名古屋と新世代への期待」である。世代の断絶ということがよくいわれるが将来の地域社会を背負って立つ青少年と成年層との意識のギャップを埋め一致協力して明かるい未来を拓くことは大切なロータリー活動のひとつであるとの認識のもと平成8年からこの会議が持たれるようになった。

会議では先ず犬飼ガバナーから「今後新しい社会を築くためには若い力が不可欠、21世紀を担う若者と“おじさん”族が率直に話しあおう」とのあいさつがあった。次いで名古屋市長松原武久氏の講演が行なわれた。市長は福祉、環境問題を中心に事例を交えてわかりやすい話をされ一同に感銘を与えた。このあと当日の出席者が、



6つのグループにわかれて自由討議に入った。

そして1時間半後その成果が全員の前でグループ毎に主に若い人達から発表された。それによると第一に「親子の対話が大切、一緒に夕食をすることがその第一歩」「親のしつけが大切、自分も親のよいしつけを受けたことを感謝している」など家庭、教育問題についての発言が先ず目立った。そこにはわれわれが当初予想していたような年代間のギャップがあまり感じられないほど率直な意見が交わされた。第二に環境問題、とくに市長の話を受けてゴミ対策について活発な討議が行なわれたことが印象的だった。即ち「日本人はモノを大切に作る気持ちをもっと持つべき」「子供の時からゴミを出さないという教育を徹底させるべき」とここでも教育に関連した方向に議論が進んだ。第三は将来の町づくりにつ



いても各グループで話が弾んだ。「21世紀をゆとりある世紀とするため町づくりに工夫を」「他市にない個性的な町づくりを」の意見のほか学校教育を通じて21世紀にむけて若い人達に希望を与えてほしい」とこのテーマでも教育にふれる発言が目立った。

この日の討議を通じて ①「世代間ギャップは予想に反して小さい、対話等の努力如何で十分克服できる」②「それにしても教育の果たす役割が大きい」③「年代をこえた協力体制が新しい21世紀を拓くためには何より必要」等が確認されたことは大きい成果であったと思う。とくに発表に当って若い人達が自分の言葉で堂々と発表していたことが印象的だった。

このような行事は一回や二回だけで終わるべきものでなく毎年、否、折にふれて頻繁にあらゆる機会を通じて持つ必要を痛感した。ロータリーの行事のなかにも世代間を通した行事もほかに数多い。最近の例でもチャリティ

ラン、新世代園遊会や青少年スポーツ大会の後援などがあり、私も出席させていただいた。あらゆる機会をとらえてそのような会合に年代をこえていろいろな人が集うこと、そしてそのなかから自由な会話や話しあいを通じて理解を深めあうこと、いいかえればこの面での「ロータリー活動の日常化」が、この世代をこえた協力体制のためにも必要なのではないかと痛感した次第である。いろいろな意味で実り多い1日であり21世紀の名古屋に大きい期待をもつことができた貴重な一日でもあったと思う。

なお当日の出席者はYMCA、ボーイスカウト、インターアクトクラブ、など各種の組織に属してボランティア活動に従事している青少年諸君、海外からの留学生、それにガバナーはじめ4クラブの青少年活動委員会所属のロータリアンあわせて80名で盛会であった、本会の運営に尽力された関係各位に感謝申上げて筆をおく。

4RC合同新世代会議報告

名古屋名南RC 青少年活動委員長 田口 貢太郎

平成9年12月7日(日)、名古屋南・東南・瑞穂・名南の4ロータリークラブ合同の第2回新世代会議が、「心の豊かさを求めて」をテーマに、国際会議場で開催されました。あいにくの小雨模様の天候にもかかわらず、熱田ロータアクトクラブ・日本ボーイスカウト愛知連盟・ガールスカウト愛知県支部及び一般参加の新世代44名と各ロータリアンや各団体リーダーを含め総勢80名の参加を得る事が出来ました。又特別出席者として犬飼ガバナーを始め、堀田第一分区代理・片山地区幹事・加藤地区青少年活動委員長においでいただきました。会議は、ホストクラブ名南RCの伊藤会長の開会に始まり、犬飼ガバナーからは、21世紀の国際時代をになう若者に対するはげましの言葉をいただき講演に移りました。最初は犬山厳光院山主松平實胤氏により「心の豊かさを求めて」と題し、物質的にも今の生活に不足はないが、何か満ち足りていない。中途半端で落着かない現代の人の心を深く分析し、その原因をさぐり、どうしたらこの問題を解決出来るのか、ユーモアを交えながら一時間にわたるお話をいただきました。つづいて新世代の女性で、耳の全く聞こえない名身連聴覚言語障害者情報文化センターの主任笹川純子さん

により、「障害者の立場から」と題して、障害を持つ者として日頃考えておられる事・健全者に理解してほしい心の問題・ボランティアの基本理念を話され、共に力を合せて住みよい社会づくりに頑張りたいと20分程度のお話をいただきました。その後当名南の女性会員の石川環境問題委員長のコーディネートで、熱田ロータアクトクラブ会員4名・ボーイスカウト隊員3名・ガールスカウト隊員1名が、それぞれの立場から、意見や感想・抱負等を発言し、ボーイスカウトの引率者やロータリアンもこれに関連して意見を述べられました。

最後に加藤地区青少年活動委員長より、講師や発言された新世代の方々に対する感謝の言葉と共に、感想と講評をいただきました。閉会は、次年度新世代会議をホストされる、名古屋南ロータリークラブの近藤青少年活動委員長よりあいさつがあり、2時間半にわたる会議を終了致しました。講演については参加された皆さん方から両講師共大変すばらしいお話であったと好評を得て、幹事担当のクラブとしてほっとしております。

今回の会議を開催するに当り、御助力をいただき又参加いただいた各方面の皆さまに心よりお礼を申し上げます。



新世代の方の発表



講師 松平實胤氏



講師 笹川純子氏

1999～2000 プログラム年度 DDF選択審議会議開催

と き 平成9年12月6日(土) 午後2時～4時
 ところ ホテルキャッスルプラザ4階 菊の間
 出席者 RI第2760地区ガバナー 犬飼 栄輝
 直前地区パストガバナー 松本 宏
 財団カウンセラーDPG 奥谷 博俊
 ロータリー財団委員長 矢島 茂
 財団奨学金(小)委員長 長谷川二郎
 研究グループ交換(小)委員長 松前 憲典
 ポリオ・プラス(小)委員長 酒井 孝
 次期財団担当地区副幹事 藤本 博之

1996～97寄付年度のシェア・システムによる当地区財団活動資金(DDF)配分報告を12月1日にRI財団管理本部から受信、\$448,263.64の活動資金が配分(シェア)されました。

このDDFは、寄付年度の3年後の1999～2000プログラム年度の使途に充当されますが、40%は国際財団活動資金(WF)60%が地区財団活動資金(DDF)であり、2時間にわたる審議の結果当地区は、国際親善奨学金を選択することに決定し、次のように配分しました。

1学年度奨学金(派遣)	\$23,000×13名=\$299,000.00
2年マルチ奨学金(派遣)	\$22,000×5名=\$110,000.00
9カ月ジャパン・プログラム(寄贈)	\$25,000×1名=\$25,000.00
2000～01年度繰越未配分額	\$14,263.64
(合計)	\$448,263.64

このDDF使途のRIへの締切日は、1998年2月1日であり、その後の寄贈の変更はできませんが、日本から外国へ派遣する国際親善奨学生の合計18名の内容の変更は1998年6月30日まで可能であります。12月8日現在、1998～99年度派遣奨学生20名のうち2名の辞退者があり、\$44,000が1999～2000プログラム年度のDDFへクレジットされた場合、1999～2000年度の募集人員を18名から20名へ増員することが可能です。

尚、9カ月ジャパン・プログラムは、タイ国チェンマイ3360地区へ寄贈することに決定しました。

第2回分区代理会議

地区副幹事 福島 啓氏

平成9年12月10日ホテルキャッスルプラザにおいて第2回分区代理会議が開催された。

当日は犬飼ガバナーや各分区代理全員の他に加

納泉地区研修リーダーも参加されて熱心な議論が行われた。

1. ニューリーダーシッププランの評価について

今年度から実施したニューリーダーシッププランをどう評価するかについて意見交換が行われた。この制度は分区代理の負担は大きいが全体として好評であったこと、分区代理としては楽しく行うことができたこと、クラブアッセンブリーは大変であったが自分自身が勉強になりまた他クラブの情報提供ができたこと、ガバナー公式訪問はもう少し時間をとった方がよいこと、地区の委員会のあり方はこのプランとの関係でもう少し検討する必要があること等の意見が出され、この制度は、今後も維持した方がよいとの確認がなされた。

2. 下期の分区代理訪問について

下期にも各クラブに分区代理訪問を行うべきか否かについて議論が行われ、原則としてこれを行うこととした。ただし、上期における分区代理訪問と異なり、訪問のやり方は、クラブ協議会を行わず、各分区代理の自由なやり方とし、地区の副幹事は付添をしない、ガバナーは分区代理訪問とは別の日に適宜メークアップする等の方法によることとなった。

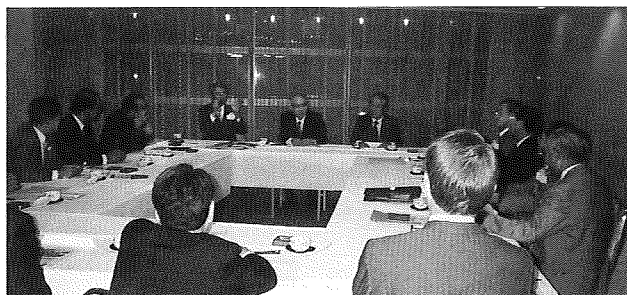
3. IMのあり方について

分区において分区代理が主催するIMをどのように行うかについて検討が行われた。

IMは、勉強会と親睦が中心で、特に若い会員の教育に重点が置かれるべきことが指摘され、また参加者が中途退場しないようにするにはどうしたらよいか、フォーラムリーダーは分区内でよいのか、招待者をどの範囲とするのか、その場合の登録料をどうするのか等の議論がなされた。そして、原則的には全分区が統一された形でなくても構わないこと、各分区のやり方で各々が考えて行えばよいことが確認された。

4. その他

研究グループ交換(G.S.E)の件、ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付実績等が報告された。



地区委員会委員長会議開催

地区幹事 片山 主水

平成9年12月9日午後4時からキャッスルプラザホテルにおいて、犬飼栄輝ガバナーの下に、地区各委員会の25名の委員長を主客に、内藤明人ガバナー・ノミニ、加納泉地区研修リーダー、各分区代理、神戸政治次年度地区研修リーダー以下、地区幹事・副幹事・次年度地区幹事・副幹事・地区会計長等総勢50名が参集し、委員長会議が開催された。

委員会活動の内容等についてはガバナー事務局と各地区委員会との間で、年度前からいろいろ協議してきたが、事務的な事項、特に委員会とガバナー事務局との事務の分担問題、各委員会予算の構成・中身の問題等については別に協議の必要があり、年度当初の計画に従って今回開催となった訳である。

しかし、順次審議が進むにつれて、この種の会議は年度が始まる前か、少なくとも年度の当初に開催されるべきもので、年度の中間になされていたのでは遅きに失するという出席者の多くの思いであった（ガバナー事務局も同じ思いであり、次年度以降への引き継ぎ事項としたい）。

2時間という短い時間のなかで協議題が多項目にわたり過ぎて、本目の細かい協議ができなかったのが心残りであったが、会議の後の懇親に入って乾杯の声がかかった時には、地区大会・公式訪問・委員長会議と一つ一つ行事が進み、あと半年で…という感慨で、心なしか酔いが早かった。

協議の結果は次号に掲載の予定である。



尾張地区 クラブ会員増強委員長会議

地区会員増強委員会 委員 高村 敦夫

と き：11月29日（土） 14：00～16：00

ところ：名鉄グランドホテル

特別出席者：カウンセラー（PG） 松本 宏
地区幹事 片山 主水
地区副幹事 福島 啓氏

西尾張分区代理 加藤 千博

尾張地区の23クラブより、会員増強委員長が出席して、会員増強について各クラブの現状報告があり、そして問題点について活発な討論がなされましたので、その要旨をご報告いたします。

1. 会員増強で今、困っていること

- 地域の人口増加が停滞したり、不況のため企業数も増えず、入会する対象者が少ない。
- 会社が倒産したりして、退会者が出ている。
- 不況により毎週の例会出席がむづかしいと言って入会しない。
- 増強するよりも退会者の引き止めが大変だ。
- JC卒業生を勧誘しても、JC時代同様にRCは忙しいと思っていて入会しない。
- 増強をすると、現在の駐車場や会場が狭いため、会場の移転問題が出てくる。
- 入会候補者を推薦したら、反対者がいて入会できず、推薦者が退会してしまった。

2. 会員増強の対策について

- 増強はクラブ全員参加で実施する。
- 増強委員長と委員が中心となって増強を積極的に推進する。
- 増強の目標を各委員会別に割り当て責任を持たせる。またクラブフォーラムを数回行なって、進行状況をチェックする。
- 対象テリトリーをブロック別に分けて、入会者をリストアップする。
- JCの卒業生を勧誘する。ただしJCOBの反対が予測される場合は事前に了解を取る。（同業者を推薦する時も同様）
- 周年の記念事業として増強を取りあげる。
- 増強も必要だが、退会防止のために親睦活動などを活発に行なう。
- 対象テリトリーの隣接地域で対象者を勧誘する。

3. 女性会員の入会について

- 女性の入会を積極的に進めている。
- 女性の入会に反対している会員もいるので説得している。
- 女性は1人でなく複数を同時に勧誘した方が入会させやすい。
- 女性はRCでなく他の女性クラブへ入会してしまう。
- 女性の入会は、まだクラブ内で機が熟していない。

以上の活動報告を各クラブの会員増強の参考にして頂ければ幸いに存じます。

バングラデシュの 低価格シェルター建設への協力について

地区世界社会奉仕(小)委員会
委員長 鶴田 欣也

この度、貧困・飢餓救済グループ第3ゾーンコーディネーター 二橋 貞雄様よりガバナーあてに「バングラデシュの低価格シェルター(仮設住宅)建設プロジェクト」への協力依頼がありました。このプロジェクトは、250戸の低価格のシェルターを恵まれない家族のために建設しようとするもので、バングラデシュの25のロータリークラブから日本のロータリークラブに要請のあったものです。

シェルターには、1戸 1,200米ドルの建設費がかかります。これをバングラデシュのRCが100米ドル、日本のRCが500米ドルを寄付し、ロータリー財団が600米ドルを補助して建設します。

第3ゾーンには当地区を初め7地区がありますが、当地区には、第3ゾーン全体60戸分のうち9戸分(1クラブ500米ドル・9RC分)の協力要請があり、下記の9クラブにご協力いただけることとなりました。

誠にありがとうございました。

- | | |
|-------------|-----------|
| ○ 東知多R.C. | ○ 小牧R.C. |
| ○ 名古屋南R.C. | ○ 津島R.C. |
| ○ 名古屋名駅R.C. | ○ 岡崎南R.C. |
| ○ 名古屋東R.C. | ○ 知立R.C. |
| ○ 犬山R.C. | |

長野オリンピック協力基金 ご協力ありがとうございました。

昨年度に続き、長野オリンピック協力募金をお願いいたしましたところ、皆様の暖かいご支援により、下記の成果をあげることが出来ました。

寄金は、国際ロータリー第2600地区長野オリンピック協力委員会を通じ、長野オリンピック及び長野パラリンピック冬季競技大会組織委員会へ贈呈されます。ご協力ありがとうございました。

1997～'98年度 6,254,000円

1996～'97年度 6,352,000円

合計 12,606,000円

新 ポール・ハリス・フェロー11月分

氏 名	所属R.C.	氏 名	所属R.C.
中島 鈍式 (小 牧)		新美 浩司 (東 知 多)	
樋口 勝敏 (名古屋名北)		山口 誠一 (東 知 多)	
平野 紀子 (名古屋西南)		木村 正 (東 知 多)	
森 孝子 (名古屋西南)		小杉正太郎 (豊 橋 北)	
佐藤紀久子 (名古屋西南)		久保田 保 (名古屋西)	
加藤 正克 (新 城)		梅村 憲一 (豊 田 東)	
水野 憲司 (一 宮 北)		河合 芳弘 (豊 田 東)	
大西 和夫 (名古屋東山)		久米 正好 (豊 田 東)	
岩崎 征一 (名古屋大須)		堀 義典 (豊 田 東)	
小鹿 勝久 (名古屋大須)		柴田 重求 (瀬 戸 北)	
井戸 勝臣 (名古屋大須)		加藤 弘三 (瀬 戸 北)	
住田 正夫 (名古屋大須)		丹羽 重次 (瀬 戸 北)	
小笠原和俊 (名古屋大須)		加藤 勇治 (瀬 戸 北)	
横井 衛 (名古屋大須)		柏本 光之 (瀬 戸 北)	
藤田 澈 (名古屋大須)		服部 宗夫 (津 島)	

..... お詫びと訂正

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998.1.1/No.7

●12ページ：公式訪問報告「知立R.C.・幹事氏名」

古澤一彦 → 吉澤一彦
誤 正

●裏表紙：出席報告11月分「名古屋名東R.C.出席率」

91.96% → 99.38%
誤 正

お詫びして訂正いたします。

.....

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



安藤 秀博様 (名古屋中R.C.) 12月21日

ロータリアンおよびご家族の皆様へおくるブラジル9日間の旅 参加者募集

日次 DAYS	月日 DATE	曜日 DAY	都市名 CITY	現地時間 LOCAL TIME	交通機関 TRANSPORTATION	摘要 REMARKS	食事
1	5/12	火	名古屋 発	17:00	JL024/RG839	日本航空／ヴァリグブラジル航空共同運行 便にてサンパウロへ (泊) 機内	
2	5/13	水	サンパウロ 着	04:20		着後、ホテルにて休憩 午前：サンパウロ市内観光 東洋人街・州立大学・パウリスタ通りなど 午後：日伯援護協会・日伯文化協会訪問 在伯日本移民資料館訪問 (泊) サンパウロ	○ ○ ○
3	5/14	木	サンパウロ ボッソスデカウダス		専用バス	午前：現地ロータリークラブ交流会出席 午後：バスにてボッソスデカウダスへ (泊) ボッソスデカウダス	○ ○ ○
4	5/15	金	ボッソスデカウダス			終日：RI第4430地区大会出席 GSE派遣メンバー激励 (泊) ボッソスデカウダス	○ × ○
5	5/16	土	サンパウロ 発 イグアス 着	13:00 14:35	RG-251	午前：バスにてサンパウロへ ヴァリグブラジル航空にてイグアスへ (泊) イグアス	○ ○ ○
6	5/17	日	イグアス 発 リオデジャネイロ 着	15:30 18:40	RG-250	終日：イグアスの滝観光 滝幅 5 km・落差100mを超えるスケールを誇る世界最大のイグアスの滝の迫力を存分にお楽しみ下さい。 ヴァリグブラジル航空にてリオデジャネイロへ 夕食はシュラスコ料理 夕食後はサンパシヨンの見学 (泊) リオデジャネイロ	○ ○ ○
7	5/18	月	リオデジャネイロ 発 サンパウロ 着 サンパウロ 発	19:45 20:45 22:10	RG-393 RG-832	終日：リオデジャネイロ市内観光 ブラジル独立100年記念で建造されたコルコバードの丘のキリスト教像（登山電車）やりオのシンボルのひとつボンデアスカーの山頂・ウルカ岩山・コバカバーナ海岸・旧市街など ヴァリグブラジル航空にてサンパウロ経由 (泊) 機内	○ ○ ○
8	5/19	火				成田へ (泊) 機内	
9	5/20	水	成田 着 成田 発 名古屋 着	13:10 18:50 20:00	JL-053	日本航空にて名古屋へ	

◎宿泊予定ホテル：サンパウロ ヒルトン ◎添乗員：全行程同行（名古屋から名古屋まで）
イグアス カタラタス
リオデジャネイロ シェラトン ◎食事：朝6回・昼5回・夜6回（機内食除く）

◎旅行代金：エコノミークラス利用 ￥ 590,000ー ◎利用予定航空会社：ヴァリグブラジル航空
ビジネスクラス利用 ￥1,120,000ー
ビジネスクラス（夫婦）利用 ￥ 960,000ー ◎最少催行人員：15名様
お1人部屋追加代金 ￥ 75,000ー

取扱旅行会社 名鉄観光サービス株式会社 名古屋伏見支店
ロータリーブラジルツアーデスク
〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26 TEL052-211-2315 FAX052-211-2420
担当／小玉、三神、鈴木

お問合せはガバナー事務所まで

特別寄付報告書 (1997年11月分)

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末永 直行

2760地区

クラブ名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合計	件数
知立	0	330,000	0	330,000	8件
蒲郡	213,000	0	0	213,000	1件
碧南	0	300,000	0	300,000	1件
一宮	0	300,000	0	300,000	10件
一宮北	85,000	150,000	0	235,000	2件
稲沢	0	300,000	0	300,000	1件
犬山	0	1,080,000	0	1,080,000	36件
春日井	83,000	300,000	0	383,000	2件
名古屋	0	100,000	0	100,000	1件
名古屋千種	0	1,110,000	0	1,110,000	26件
名古屋東山	0	600,000	0	600,000	2件
名古屋北	348,000	0	0	348,000	1件
名古屋空港	0	600,000	0	600,000	2件
名古屋名北	150,000	600,000	0	750,000	3件
名古屋名南	0	2,460,000	0	2,460,000	49件
名古屋名東	0	0	500,000	500,000	1件
名古屋瑞穂	0	90,000	0	90,000	2件
名古屋守山	0	300,000	0	300,000	1件
名古屋西	0	600,000	0	600,000	2件
名古屋栄	50,000	0	0	50,000	1件
名古屋西南	0	300,000	0	300,000	1件
名古屋昭和	0	1,220,000	100,000	1,320,000	34件
西尾	0	60,000	0	60,000	2件
西尾KIRARA	0	180,000	500,000	680,000	10件
岡崎	0	60,000	0	60,000	6件
岡崎東	13,509	120,000	0	133,509	8件
岡崎城南	0	180,000	0	180,000	14件
岡崎南	0	40,000	0	40,000	2件
尾張旭	0	30,000	0	30,000	1件
瀬戸北	0	300,000	0	300,000	1件
田原	0	180,000	0	180,000	2件
常滑	0	300,000	0	300,000	1件
豊橋	0	300,000	0	300,000	1件
豊橋東	0	270,000	0	270,000	1件
豊橋北	0	140,000	0	140,000	5件
豊橋南	0	10,000	0	10,000	1件
豊川	0	1,290,000	0	1,290,000	39件
豊川宝飯	0	780,000	0	780,000	26件
津島	0	30,000	0	30,000	1件
合計	942,509	15,010,000	1,100,000	17,052,509	308件

1997~'98年度 各分区I.M.開催の日程 (開催日順)

分 区 名	開 催 日	ホストクラブ名・開催場所	テーマ	リーダー	アドバイザー(P.G.)
東 三 河	1998.1.31(土)	蒲郡RC 蒲郡プリンスホテル	激動する世界情勢 ヨーロッパから見た日本	鈴木省三	宮地信尚 石川和昌 松本 宏
名古屋第二	1998.2.12(木)	名古屋守山RC ホテルナゴヤキャッスル	環境	山田静夫	蜂谷弘道
名古屋第一	1998.2.16(月)	名古屋中RC 名古屋観光ホテル	あるべき指導者像	堀田逞二	盛田和昭 加納 泉
西三河第一	1998.2.28(土)	岡崎城南RC 岡崎竜美丘会館	松下幸之助に学ぶ 人の使い方、活かし方	有馬惟夫	高沢 隆
西 尾 張	1998.3. 7(土)	尾西RC 名鉄犬山ホテル	新世代の育成について	加藤千博	加納 泉 神戸政治
東 尾 張	1998.3.15(日)	春日井RC 春日井ロイヤルホテル	東尾張分区へ ロータリーの心を	早川八郎	奥谷博俊 福田浩三
西三河第二	1998.3.28(土)	高浜RC 衣浦グランドホテル	「四つのテスト」を考える	杉浦重行	盛田和昭
尾 張 第一	1998.3.29(日)	東海RC 名鉄ニューグランドホテル	WCSについて	河合博文	田中 徹 松本 宏

1998～'99年度 分区代理ご紹介

尾張第一分区

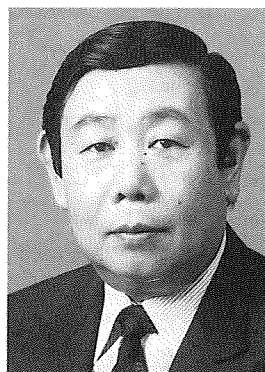


加藤 知成

昭和13年9月23日生
東知多RC
シニア・アクティブ（家庭用家具配布）
カリモク家具販売（株）代表取締役
1970.1 東知多RC入会
1977～'78 幹事
1988～'89 会長

ボール・ハリス・フェロー

名古屋第一分区

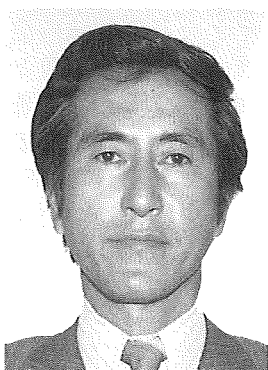


春日 良平

昭和10年5月4日生
名古屋瑞穂RC（日本料理）
シニア・アクティブ
有限会社 かすが荘 相談役
1974.2 名古屋南RC入会
1980.1 名古屋瑞穂RC創立と共に移籍
1980～'81 幹事
1988～'89 会長

ボール・ハリス・フェロー
米山功労者

名古屋第二分区

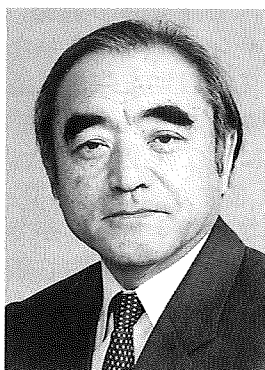


上村 晋也

昭和9年11月11日生
名古屋和合RC
ウエムラ歯科医院 院長
1974.9 名古屋和合RC入会
1982～'83 幹事
1990～'91 会長
1990～'96 地区社会奉仕委員
1994～'95 地区監事
1996～'97 地区社会奉仕委員長

ボール・ハリス・フェロー
米山功労者

東尾張分区



飯田 幸雄

昭和7年11月28日生
尾張旭RC
シニア・アクティブ（呼吸器科医）
飯田内科医院 院長
1971.3 尾張旭RC入会
1984～'85 幹事
1992～'93 会長
1993～'94 地区会員増強委員
1994～'95 地区会員増強副委員長
1995～'96 地区会員増強委員長
1996～'98 地区拡大委員

ボール・ハリス・フェロー

西尾張分区

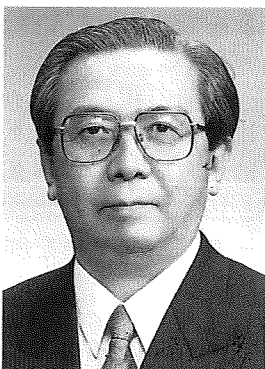


田中 清隆

昭和9年5月20日生
あまRC
シニア・アクティブ（皮膚科医）
田中皮膚科クリニック 院長
1969.9 あまRC入会
1977～'78 副会長
1978～'79 会長
1983～'84 地区協議会実行委員長
1992～'93 地区環境保全(小)委員
1993～'94 地区環境保全(小)委員長
1994～'96 地区環境保全(小)委員

ボール・ハリス・フェロー
米山功労者
マルチプル・フェロー

東三河分区

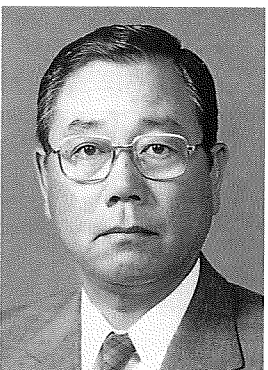


来本 吉郎

昭和6年2月6日生
豊橋北RC
シニア・アクティブ（紙販売）
株式会社 ライモト 代表取締役社長
1964.7 豊橋北RC入会
1972～'73 幹事
1982～'83 副会長
1983～'84 会長

ボール・ハリス・フェロー
米山功労者

西三河第一分区



村野 力男

昭和9年8月10日生
豊田西RC
シニア・アクティブ（空気調整配管工事）
東洋工業（株） 代表取締役社長
1976.9 豊田西RC入会
1990～'91 会長
1991～'92 地区ロータリーの友副委員長
1992～'93 地区ロータリーの友委員長

ボール・ハリス・フェロー
米山功労者

西三河第二分区



池田 憲司

昭和3年6月20日生
刈谷RC
シニア・アクティブ（繊維機械部品製造）
池田工業株式会社 取締役社長
1973.12 刈谷RC入会
1989～'90 会長
1990～'91 刈谷知立（現 知立）RC
創立拡大準備委員長

マルチプル・フェロー
米山功労者

名古屋北ロータリークラブ

名古屋北ロータリークラブは、1959年5月21日、名古屋ロータリークラブをスポンサークラブとし、特別代表佐治博氏のもと、チャーターメンバー23名（現在2名）で創立しました。RI加盟承認は6月17日とまもなくのことでしたが、チャーターナイトは大幅に遅れて、翌1960年3月6日になりました。それは、ちょうどその年、伊勢湾台風があり、その救援活動に忙殺されるなか、開催を翌年まで見送ったためでした。

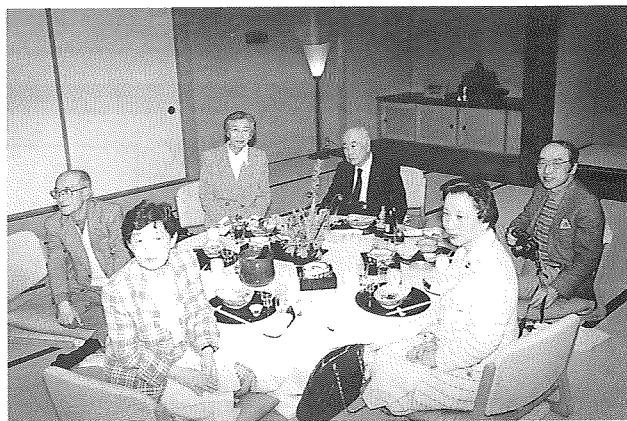
発足当初は、そんなアクシデントがありましたが、その経験は奉仕団体としての自覚を強く認識することになり、以来、ロータリーとして“奉仕”と“親睦”の2本柱を着実に育ててきました。1999年には創立40周年を迎えますが、これまで、バランスのとれたクラブとして成長することができ、ガバナーからは“派手さはないが、いぶし銀の輝きを持ったクラブ”“100点満点で120点”などというご講評をいただきました。

本欄の紹介では、紙幅の都合で、奉仕活動は四大奉仕部門をはじめ各分野にわたってバランスよく積極的に行っているというにとどめて、あえて親睦活動の充実ぶりにスポットを当てさせていただきます。

「不惑」の年近い間には、一人前の親として子クラブを生みました。1964年に名古屋守山ロータリークラブを、また1981年には名古屋名北ロータリークラブを創立しましたが、1996年には名北ロータリークラブが名古屋錦ロータリークラブを創立して、親子孫の3代にわたる系譜が築かれたので、これを機に昨年度からは4クラブこぞでの合同例会を持ち回りで開催するようになり、クラブ同士の親睦を深めております。

例会においては、毎月最終例会は立食パーティーを恒例としていることが特異かと思います。この主旨は、通常形式の例会では私語禁止が厳しく徹底され、これでは折角出席しても会員同士の親睦が図れないのではないかという指摘から、それなら月に一度私語を解放し、大いに語り合って親睦を深めようと企図され、この主旨を活かして時間の許す限り歓談し、日頃出来ない交流が行われています。ビジターの方々にも親しく交流していただいております、大いに親睦の実を挙げているものといささか自負しております。

また、当クラブ独自の「名古屋北ロータリーク



家族旅行会

ラブの唄」があり、月1回、この立食パーティーの時に斉唱して、クラブ会員としての結束感を高めています。

ゴルフをはじめ麻雀、カラオケなどの趣味の会の活動も活発です。また、会員の奥様方を対象とした「婦人の会」もあり、家族間の交流も親密なものがあります。このほかにも干支別の会による親睦もはかられています。この会ではそれこそ年代差を越えたフリートキングで忌憚のない交流がはかられております。

●名古屋北ロータリークラブ

創立年月日	1959年5月21日
RI加盟承認年月日	1959年6月17日
認証状伝達式	1960年3月6日
チャーターメンバー	23名
特別代表	佐治 博（名古屋ロータリークラブ）
スポンサークラブ	名古屋ロータリークラブ
事務所	名古屋東急ホテル
例会場	名古屋東急ホテル
例会時間	金曜日
テリトリー	名古屋市 東区・北区



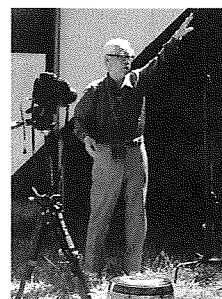
毎月最終例会は
恒例の立食パーティー



同好会紹介

名古屋空港ロータリークラブ カメラ部会 嗚呼、楽し、カメラ部会

佐藤 嘉晃



昭和57年4月に第一回の撮影会、犬山の桜から数えて40回の撮影会開催、その都度、出来栄に従って、金・銀・銅・佳作など入賞作品を例会場に展示し、会員の批評やらほめ言葉は、和やかな例会場の一助になっています。発足から今日まで指導をして頂いている先生は、私達のクラブのメンバー天野正英会員で、撮影会では天野先生と呼んで指導を仰いでおります。

天野先生は平成7年に、カメラマンとして最も栄誉ある、「功労賞」日本写真協会（映画界で言えばアカデミー賞）を受賞されております。又、他のカメラ愛好グループの指導もされていて、中部地区ではよく知られた写真家です。

良き指導者に恵まれ、和気あいあいの中、一泊・日帰り撮影会時にはヌード撮影など楽しんでおります。

クラブでの大きな行事の写真班として依頼を受け、活躍することもしばしばで、カメラ愛好会の面目躍如たるものがあります。

私自身、名古屋空港RC入会と同時に、カメラ愛好会に入部させて頂き、大いに参考になることが多く、良い勉強になっております。と申しますのも、絵を描くのを趣味としている私は、カメラの撮影会とか、天野先生の批評を拝聴したり皆さんの作品を観て、写真と絵画には多分に共通したものがあつたことに気が付き、絵を描くときの構図のとり方などに、その手法を取り入れております。

特筆すべきは、撮影会に夫人同伴の企画が多いのもカメラ会の特徴で、当クラブには、ゴルフ部、囲碁の会などもあります、夫人同伴はあまり聞

いたことがなく、さらに作品品評会にもご夫人同伴で、料理とお酒を頂きながら、先生の批評に一喜一憂しながら大いに盛り上がり親睦を深めています。カメラ部会のメンバーには、大変健啖家が多いのも面白いものです。

秋の本曾路撮影会（平成6年）の時のこと、妻籠・馬籠の宿を、メンバーそれぞれが撮影に夢中で、我こそは金賞をと頑張っていたころ、天野先生は写真を熱心に撮っている若い女性をモデルに何枚か写真を撮った後、彼女が杏の里の出身と判り、「杏の里の撮影会を計画するので、是非モデルになってくれないか」とお願いし、快くOKして頂いたとのこと、さすがプロカメラマンは口説くのがうまいものだ、と、部員一同感心したり。次の撮影会の場所も決定し感謝感謝でした。

翌年4月、長野県更埴市に有る杏の里へ“杏樹下美人”としゃれて、上山田温泉に一泊し、杏の里へ、約束どおり彼女が待って居てくれ、おまけにもう一人、これ又美人の友達を誘って二人でモデルを努めてくれました。

杏の花の満開を予測するのは桜の見頃を予測すること以上に難しいそうです。小雨でしたが、ぴったり満開で、実に撮影会には最高の杏の花と美女二人で、素晴らしい傑作が量産出来、記憶に残る撮影会でした。

撮影会の度毎に、新しい発見やら思い出を刻みつつ、部員一同近々名古屋空港RC写真展を開こうと意気軒昂で、作品の制作やら整理に取り掛かって居るところです。

傑作を撮るには、座ったままとかバスの車窓からでは良い写真は出来ません。気に入った被写体に出会うまで足で探します。これがとても健康に良いことデス。一度皆さんも写真撮影を楽しんでみては如何でしょうか。



あせるな くさるな

ガバナー 犬飼 栄輝

今からちょうど2年前の1月末、私は「中日本エアライン」で高松に行き、ホテル「川六」に泊まりました。翌朝早くお目にかかる約束の人があり、タクシーを呼んでもらいました。やって来たのが大川タクシー。地元大川バスの関連会社です。

乗ってすぐに「あれっ」と思ったのが、運転席の名札にとめてあるカードです。

こう書いてありました。

○あせるな ○おこるな ○いばるな

○くさるな ○おこたるな

「運転手さん、いいこと書いてありますね。これは会社から出しているんですか」と私。

「そうですよ。月替りで4種類あります。ま、その通りだから、しっかり守っています」と答えて帰ってきました。

何処かで聞いたことがあるなと思って、すぐに気がつきました。「大須ういろ」の山田昇平さんの人生訓です。

思わぬところで思わぬ人に出て「これはどうも」という経験は誰にでもあります。

まさにそれでした。

ただし5番目が少しちがいます。山田さんののは

○まけるな

です。だから頭文字5個を並べて「あおいくま」になっています。しかしドライバーに「まけるな」というのは誤解を招きかねないので「おこたるな」に変わったのではないのでしょうか。

これは素晴らしいものを見つけたと思いました。

山田さんとはいろいろな会合でお目にかかるか

ら、この次ぎ会ったらぜひ報告しようと思いがら、忙しさと雑事にまぎれ、つい忘れていました。

また、山田さんにお目にかかる機会もありませんでした。

そして平成8年4月6日、突然の訃報です。

私は本当に後悔しました。手紙かハガキでもいい、何故すぐに出そうとしなかったのか。

過ぎ去った時間はもう帰りません。若しご存命中にお知らせしたら、どんなに喜ばれたことでしょうか。

告別式の日、温容そのものの山田さんの遺影に手をあわせ、私は心からお詫びしながら、初めてご報告しました。そして長い間ご厚誼をいただいたことに感謝し、お別れを告げました。

山田さんは名古屋名物「大須ういろ」の会長で、忙しいビジネスのかたわら、愛知県広告協会理事長、同防犯協会々長、名古屋市地下街連合会の会長をつとめ、名古屋大須ロータリークラブの初代会長と、名古屋栄ロータリークラブの初代会長もつとめられました。

俳句や随筆、エッセイもよくするマルチ人間でした。また「名古屋弁を全国に広める会」の会長になられ、才智とユーモアは抜群でした。

「味」をテーマに、豊富な知識で食文化を語る「今昔美味求旬雑論雑談話」（今は昔四季おりおりの味アラカルト）の著書もあります。

北白川書房の「とうかい食べあるき」でも常連のライターで、平成8年3月号の「会席料理談議」が絶筆になりました。

「人は死して名を残す」といいます。山田さんの名前と心は、四国でもドライバーの心のなかで生きています。そしてこの5つの訓えは、底ナシ不況にたち向かう私どもの心に、強く迫るものがあります。

山田さん、あの世にも食文化はありますか。

「味めぐり」で健筆をふるい、あの世でもきつと明るく忙しくご活躍のことと思います。

2年前の寒い春、桜が咲きそろうのも待たないでなくなられた故・山田昇平氏のご冥福を、重ねてお祈りしたいと思います。

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫
1996～97年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	89,012	雇用保険料預り金	16,578
普 通 預 金	4,859,866	社会保険料預り金	16,056
定 期 預 金	15,000,000	(負 債 合 計)	32,634
(現 金 預 金 計)	19,948,878	正 味 財 産	
		次 期 繰 越 剰 余 金	19,916,244
(合 計)	19,948,878	(合 計)	19,948,878

(収支計算書)

収 入		支 出	
前 年 度 繰 越 金	11,461,342	委 員 会 費	1,412,259
ク ラ ブ 協 力 金	38,742,150	業 務 費	2,846,806
コ ピ ー 関 係 収 受 金	672,665	賃 貸 管 理 費	12,001,921
受 取 利 息	41,073	人 件 費	14,740,000
		次 期 繰 越 剰 余 金	19,916,244
(合 計)	50,917,230	(合 計)	50,917,230

ロータリー文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会シンポジウムから (1995-97)

- ◎「米山奨学生おおいに語る－日本の友達を通じて得た日本及び日本人観」D.2610 11頁
郭頭錦、張福道、李建新、南尚鎮
- ◎「遙かなる道・ロータリー」D.2630 22頁
小瀬洋喜、吉田豊、所功
- ◎「ロータリーと寛容の精神」D.2640 12頁
佐藤千寿、三宅俊三、土屋亮平
- ◎「国際理解と平和－東欧ロータリークラブ対談」D.2650 8頁
ヤヌシュ・フォグレール、イジー・ブルバ 他5名
- ◎「アジアと太平洋地域における大阪の役割について－海の彼方からのメッセージ」D.2660 10頁
ヴィセンティ・ロアン、アブドラ・ラフマン 他4名
- ◎「RI第6450地区（シカゴ）『GSEメンバー日本を語る』」D.2770 10頁
フレッド・オットー、モーリン・ハロズン 他3名
- ◎「ロータリーは国際化を促進できるか？」D.2780 15頁
加藤恒七、竹山涼一、三橋貞雄
- ◎「地球の文化遺産を見直そう」D.2610 21頁
浅生幸子、池端滋、谷本互、長谷川和術
- ◎「新世代問題について」D.2830 14頁
藤原勉、封馬文夫、木村将人、渡部忍
[申込先 ロータリー文庫（コピー）] 注：氏名＝パネリスト

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

ロータリー文庫

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	半 田	100	4	68	69	1
	常 滑	98.93	4	71	74	3
	東 海	97.95	4	59	62	3
	東 知 多	100	5	67	69	2
	半 田 南	98.88	4	69	71	2
	知 多	100	2	49	51	2
	6 R C	99.29		383	396	13
名古屋第一分区	名 古 屋	96.80	4	221	238	17
	名 古 屋 西	97.66	4	142	149	7
	名 古 屋 南	99.19	4	127	135	8
	名 古 屋 港	100	4	128	133	5
	名 古 屋 東 南	99.39	4	89	95	6
	名 古 屋 中	99.02	2	162	167	5
	名 古 屋 瑞 穂	100	4	102	102	
	名 古 屋 大 須	98.70	4	101	100	-1
	名 古 屋 栄	98.17	2	80	83	3
	名 古 屋 名 駅	97.92	4	102	109	7
	名 古 屋 名 南	99.44	4	89	92	3
	名 古 屋 西 南	100	4	54	58	4
	12 R C	98.86		1,397	1,461	64
名古屋第二分区	名 古 屋 北	99.30	4	112	117	5
	名 古 屋 東	98.21	2	114	114	
	名 古 屋 守 山	99.43	4	86	87	1
	名 古 屋 和 合	100	4	108	114	6
	名 古 屋 名 東	95.12	4	83	82	-1
	名 古 屋 名 北	100	4	71	76	5
	名 古 屋 千 種	97.12	4	65	70	5
	名 古 屋 昭 和	96.53	2	69	74	5
	名 古 屋 錦	97.31	4	64	66	2
	名 古 屋 東 山	98.64	4	54	57	3
	10 R C	98.17		826	857	31
東尾張分区	瀬 戸	100	4	82	86	4
	犬 山	100	4	83	86	3
	江 南	99.65	4	73	78	5
	小 牧	97.85	4	72	76	4
	春 日 井	99.69	4	81	83	2
	尾 張 旭	100	4	66	69	3
	名 古 屋 空 港	100	2	68	70	2
	瀬 戸 北	99.24	4	69	71	2
	岩 倉	98.65	4	41	39	-2
	豊 山 一 城 北	95.54	4	57	57	
	10 R C	99.06		692	715	23
分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
西尾張分区	一 宮	99.47	4	92	96	4
	津 島	100	4	87	90	3
	尾 西	95.05	2	61	62	1
	一 宮 北	98.17	4	84	83	-1
	稲 沢	98.12	4	65	69	4
	あ ま	99.52	2	104	103	-1
	西 春 日 井	100	4	64	66	2
	尾 張 中 央	100	4	50	52	2
	一 宮 中 央	97.32	4	75	75	
	9 R C	98.63		682	696	14
東三河分区	豊 橋	99.79	4	133	134	1
	蒲 郡	96.41	4	76	78	2
	豊 橋 北	99.53	4	112	115	3
	豊 川	96.92	4	80	79	-1
	田 原	100	4	72	74	2
	豊 橋 南	100	2	73	74	1
	新 城	96.12	4	68	68	
	渥 美	95.08	4	65	65	
	奥 三 河	92.90	5	39	39	
	豊 川 宝 飯	99.60	4	67	67	
	豊橋ゴールデン	100	4	83	82	-1
	田原パシフィック	98.99	4	76	76	
	豊 橋 東	100	4	37	38	1
	13 R C	98.10		981	989	8
西三河第一分区	岡 崎	100	4	121	124	3
	豊 田	97.15	4	93	97	4
	岡 崎 南	99.76	4	115	115	
	豊 田 西	99.48	2	97	104	7
	岡 崎 東	98.56	4	93	100	7
	豊 田 東	96.22	4	97	97	
	岡 崎 城 南	100	4	77	80	3
	豊 田 三 好	100	2	35	37	2
	8 R C	98.90		728	754	26
西三河第二分区	刈 谷	100	4	85	93	8
	安 城	99.21	4	91	90	-1
	西 尾	96.38	4	76	76	
	碧 南	98.38	4	80	83	3
	一 色	99.04	4	51	52	1
	高 浜	98.07	4	55	53	-2
	知 立	100	4	57	59	2
	西尾KIRARA	98.94	4	72	72	
	8 R C	98.75		567	578	11

地域内クラブ数 76RC

'97.7.1会員数 6,256名

増 加 会 員 数 201名

当月末会員数 6,446名

減 少 会 員 数 11名

当月平均出席率 98.72%

差引純増会員数 190名